

かつお いっぽんづり

ぎ よ ぎ よ う

[がいこくじん ぎのうじっしゅうせい よう きょうざい]

だいにほんすいさんかい

はじめに

この きょうざいは あなたがた がいこくの かたがたが
にほんの 「かつお いっぽんづり ぎよぎょう」の ぎのうじ
っしゅうを うけるときに やくだつように さくせい しまし
た。

なれない にほんごの きょうざいですが みなさんが
わかりやすいように 「かつお いっぽんづり ぎよぎょう」 に
ついて やさしく せつめいして あります。

もし わからない ところが あれば ぎのうじっしゅう
しどういんや にほんじんの のりくみに しつもんして
きそてきな ちしきを いちにちも はやく みに つけて
ください

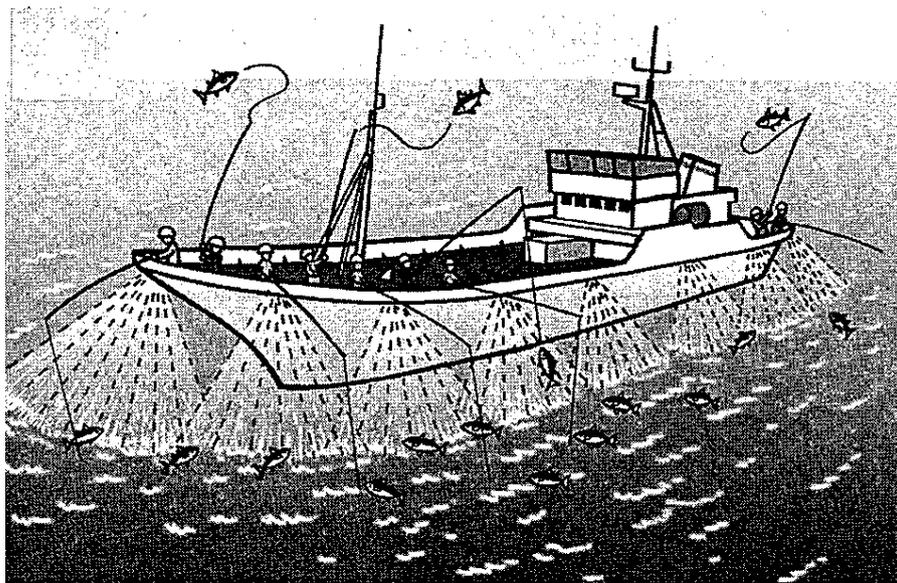
もくじ

1. かつおの とりかたと かつおを とるふね
2. かつお いっぽんづり ぎょぎょうで とれる さかな
3. かつおの むれ (なぶら、なむら)
4. かつおが つれる ぎょじょう
5. かつおを つる どうぐ
6. そうぎょう
7. みずあげ

1. かつおの とりかたと かつおを とるふね

①かつおは おもに いっぽんづりや まきあみで とります。

②にほんの ちかくの うみで かつおを とる いっぽんづり ぎよせんは 120トン(120t)より ちいさいものが おおいです。



③かつおを おいかけるため はやい すびーどで はしれます。

④ふねの おもて(せんしゅ)には、かつおを つるときに のぼる 「つりだい(やりだし)」が あります。

⑤ふねの よこにも 「つりだい」が あります。

⑥ふねの おもて(せんしゅ)から とも(せんび)まで さんすいき (みずを まくための そうち)が ついて います。

⑦かつおを つる ときは いきたいわしを つかうので、いわしを いかしておく ぎよそう(かめ)も あります。

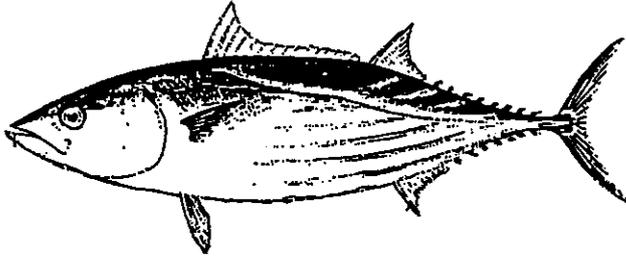
⑧しゅっこうして えさばへ むかい いきたいわしを つみこみます。

⑨いきたいわしを 入れておく ぎよそう(かめ)には、かいすい (うみのみず)を おくりこむ そうちも ついています。

2. かつお いっぽんづり ぎよぎょうで とれる さかな

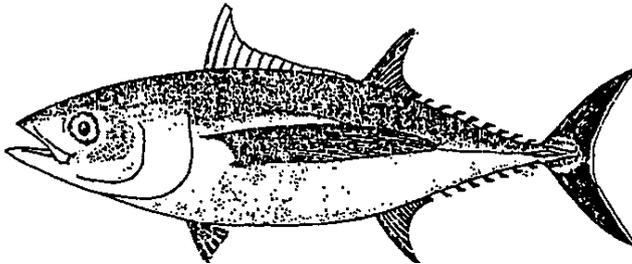
かつお つり ぎよぎょうでは かつおの ほかに びんちょう (とんぼ) きはだ (きめじ) も つれます。

① かつお



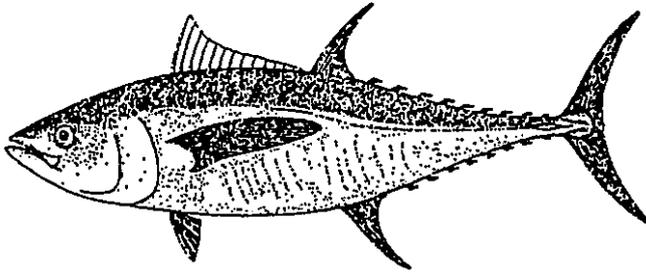
- ・からだの ながさは 40センチメートル (40 cm) から 60センチメートル (60 cm) です。
- ・おもさは 1キロกรัม (1 kg) から 5キロกรัม (5 kg) です。
- ・からだの よこに あおい しまもようが あります。

② びんちょう (とんぼ)



- ・からだの ながさは 40センチメートル (40 cm) から 1メートル (1 m) ぐらいです。
- ・おもさは 2キロกรัม (2 kg) から 18キロกรัม (18 kg) ぐらいです。
- ・むねの ひれが ながいのが とくちょう です。
- ・かんづめの げんりょうにも なります。

③きはだ (きめじ)



・からだと せなかの ひれが きいろいのが とくちょう です。

3. かつおの むれ (なぶら、なむら)

①かつおは むれを つくって およぐ せいしつが あります。

②かつおの むれ (なぶら、なむら) の うえには おおくのばあい うみどりが たくさん とんでいます。

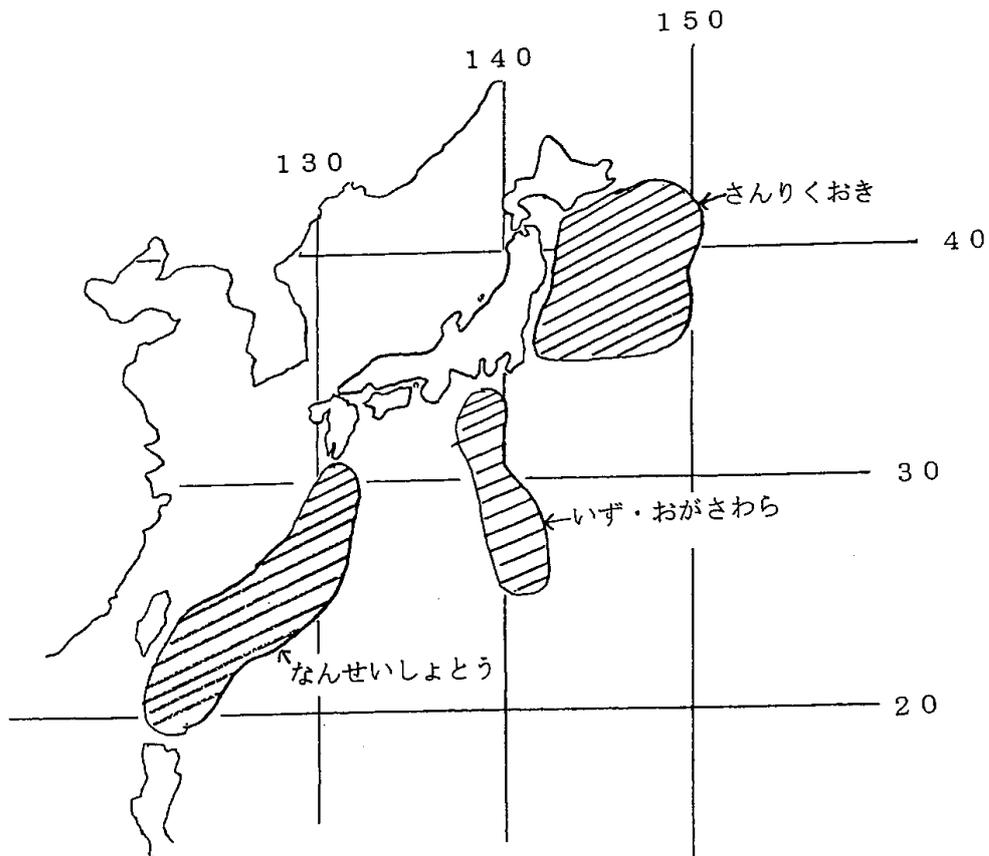
③かつおの むれは、このほか さめに ついたり 「ながれもの」と いう うみに うかんでいる きや ろーぷのしたに つくばあいも あります。

④うみどりのむれ さめや 「ながれもの」を みつけると かつおの むれを みつける ことが おおいです。

4. かつおが つれる ぎょじょう

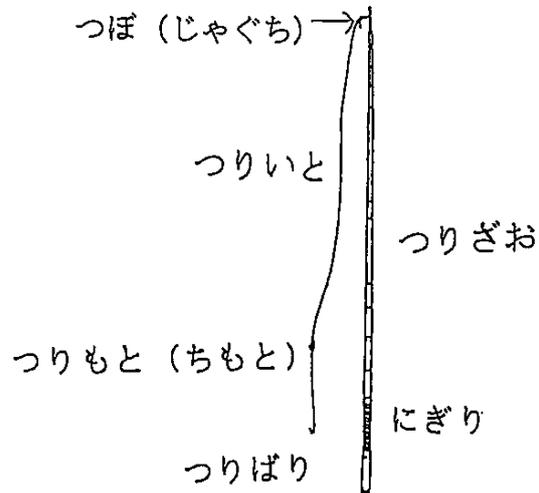
- ①かつおは たいへいようの きゅうしゅうから ほっかいどうまでの
いろいろな ぎょじょうで つれます。
- ②おもな ぎょじょうは したの ずのように さんりくおき
いず・おがさわら なんせいしょう です。
- ③かつおの ぎょじょうは きせつに よって かわります。
- ④かつおと おなじ ぎょじょうで びんちょう (とんぼ) も
つれます。

かつおが つれる おもな ぎょじょうず



5. かつおをつる どうぐ (ぎょぐ)

① つりざお



- たけや かーぼんや ぐらすふあいばーで できています。
- ながさは 2.5メートル (2.5m) から 5メートル (5m) でふとさも いろいろあります。
- さおには つりいとが ついていて、いと の さきに つりばりをつけます。
- つりいとと さおを むすぶ ところを 「つぼ (じゃぐち)」と いいます。
- つりばりと つりいとを むすぶ ところを 「つりもと (ちもと)」と いいます。

②ぎじばり



- つりばりの さきに えさに にせてつくった とりの けを つけた はりの ことです。
- かつおが のみこんでも かえし (あぐ) が ないので ふねのうえで すぐ はずれます。
- おおきさは いろいろあり、つりやすいように じぶんで つくることも あります。

③えさつりばり



- いわし などの いきたえさを つけて つかう、かえし (あぐ) のある つりばりです。
- ぎじばりで つつていて かつおが つれなくなると、このえさばりに かえます。

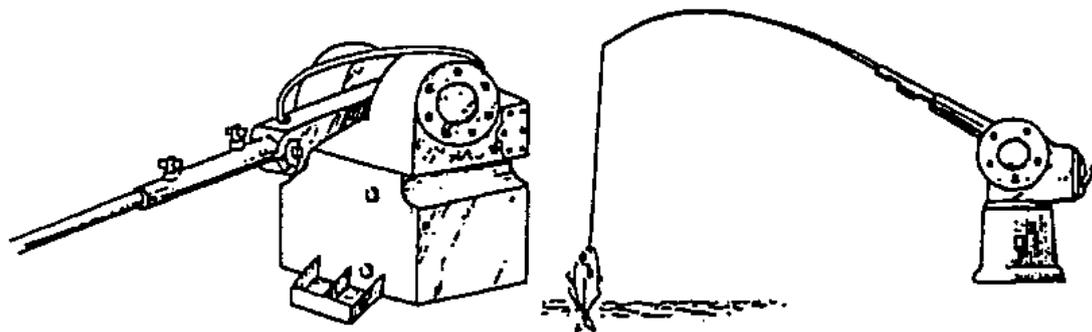
④たもあみ

- いきたえさの いわしを まく ときに つかいます。

⑤ うおかぎ

- ・びんちょう（とんぼ） きはだ（きめじ）などの おおきい さかなが つれたときに さかなを ひきあげる どうぐです。

⑥ じどうつりき



- ・ゆあつで じどうてきに さおをうごかして、かつおなどを つりあげる きかい（ろぼっと）です。
- ・おおきい さかなを つるときに とくに やくに たちます。

6. そうぎょう

① かつおの みつけかた

- ・かいすい（うみのみず）のおんど、みずのいろ、しおめなどを かんさつ します。
- ・とくに かいすい（うみのみず）の おんどを はかる ことが たいせつ です。
- ・かつおは ふつう20ど（20℃）いじょうの すいおんの ばしょで つれます。
- ・ぎょじょうに ついたら、かつおに つく とりの むれや ながれもの などを そうがんきょう（めがね）や とりれーだーを つかって さがします。

- ・うみの なかにいる かつおを みつけるときは そな一を
つかいます。

②さかなの あつめかた

- ・かつおの むれを はっけんしたら むれの おおきさを たしかめます。
↓
- ・いきた いわしと みずを まきます。
↓
- ・かぜのくる ほうこうに おもて (せんしゅ) を むけて ふねを
とめます。
↓
- ・えさと みずを まき つづけ、むれが にげないようにします。

③さかなの つりかた

- ・なれたひとが ふねの おもて (せんしゅ) の つりだい (やりだし) で
つります。
- ・けいけんの あさいひとは ふねの まんなか ちかくで つります。
- ・つりあげた かつおは こんべあーで はこばれ、じどうてきに
ぎょそう (かめ) に はいります。
- ・つった かつおは せんどを たもつため 0ど (0℃) ちかくの
みずで ひやして ほぞんします。

④つる ときの ちゅうい

- ・へるめっと、かつば、ながぐつ、さおあて、あんぜんべると、
さぎょうよう きゅうめいいを つかいます。
- ・ふねの ゆれを りょうして つりあげの たいみんぐを きめます。
- ・つりあげるときは、りょうがわの ひとに さおや さかなが
ぶつからないように ちゅういします。

- ・えさを つけて つるときは、つった かつおを ひだり わきにかかえて はずします。
- ・かつおが はずれた はりは、ほかの ひとの からだや つりいとにひっかかる ことが あるので、じゅうぶん ちゅうい します。
- ・つりあげた かつおの おちる ところに いないようにします。

7. みずあげ

- ①つった かつおを どこへ みずあげ するかは、せんしゅと れんらくを にとって きめます。
- ②ぎょそう (かめ) から のりくみいんが ていねいに てわたしで いちばに あげます。
- ③つった さかなを せんどべつ、おおきさべつに わけて はこや たるに つめ せりに かけます。